

## 第2学年 小型学科 6月分課題問題用紙

☆以下の問い（全30問）に答えなさい。

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものはどれか

- (1) 海上での信号や標識は20トン以上の船に適用されるので小型船舶には関係ない
- (2) 沿岸を航海する場合ならば通信手段は持つ必要はない
- (3) 太陽光の水面反射によって海面の状況が分かりづらい時がある
- (4) 自船の安全が確保できるなら海域によらず速度を上げて航行して良い

問2 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものはどれか

- (1) 水上スキーを曳航している小型船舶は前方の注意が疎かになることがある
- (2) ダイバーには常に警戒船が付き添っているので潜水中かどうかは直ぐに判断できる
- (3) モーターボート等の引き波で海水浴客などが転倒する恐れがある
- (4) 釣り人に近づくると釣り糸がプロペラに絡まってしまう恐れがある

問3 水上オートバイの特性について適切でないものはどれか

- (1) 舵やプロペラが無いので比較的浅い海域でも航行できる
- (2) 加速性に優れていて高速で航行できる
- (3) 運動性能が良く急旋回も可能である
- (4) エンジンを停止しても惰力で進行方向を変える事が出来る

問4 小型船舶船長が知っているべき「大型船の特性」として適切でないものはどれか

- (1) 大型船の前方を航行する場合、自船から大型船のブリッジが見えなければ大型船の死角に入って航行していると判断したほうが良い
- (2) 大型船は高性能な航海計器を積んでいるので危険回避は大型船に任せたほうが良い
- (3) 自船が他船の陰に隠れている場合は、大型船のレーダーに自船は映っていないと判断したほうが良い
- (4) 風や波が強い状況で航行している時は、自船は波間に隠れてしまい大型船からは確認できないと考えたほうが良い

問5 航行中のヨットの特性について適切でないものはどれか

- (1) ヨットは「ヨット持ってる金持ちウゼエ」と常にアンチに狙われている
- (2) 帆による死角で前方の安全確認が不十分な事がある
- (3) エンジンを併用して航行している時がある
- (4) ヨットは風を受ける弦を変えながら航行する

問6 「引き縄釣り漁業」について適切でないものはどれか

- (1) 竿等を利用して一度に複数の引き縄（釣り糸）を引く事がある
- (2) 操業中は竿に集中しているの見張りが疎かになってしまう事がある
- (3) 複数の縄を出す特殊な漁業なので専用の形象物を掲げる必要がある
- (4) 引き縄の長さは最長で数十 m に及ぶので後方を横切る場合は十分に距離を取る

問7 「タコつぼ漁業」について適切なものはどれか

- (1) 設置期間が長いので設置場所は海図に記載される
- (2) 必ず見回りの船が居るので設置場所を確認する事は容易である
- (3) 複数組設置される事が多いのでブイ等を見かけたら十分に離れて航行する
- (4) タコつぼ漁業専用の形象旗があるので判別は容易である

問8 短期間で設置場所が変わる事が多い漁業はどれか

- (1) 定置網
- (2) タコつぼ
- (3) ノリ養殖
- (4) カキ養殖

問9 プレジャーボートの衝突事故の主な原因である「見張り不十分」に該当しないものはどれか

- (1) 自船の位置確認を疎かにしてコースを外れた
- (2) 他船に気を取られて衝突の危険がある船に気付かなかった
- (3) 死角に入っていた船を見逃した
- (4) ただ漫然と一方向だけを見ていた

問10 プレジャーボートの海難の種類とその原因の組み合わせとして正しいものはどれか

- (1) 機関故障—気象海象不注意
- (2) 衝突—見張り不十分
- (3) 転覆—船位不確認
- (4) 乗り上げ—操船不適切

問11 小型船舶の船長がとった以下の行動の内法令に違反しないものはどれか

- (1) 船体識別番号を塗りつぶした
- (2) 通知を受けた船体番号を船体に表示した
- (3) 登録を受けていない小型船舶を航行させた
- (4) 譲渡証明書を発行せずに小型船舶を譲った

問12 小型船舶の船長の責任について適切でないものはどれか

- (1) 衝突や乗り上げ事故を起こすと行政処分を受ける事がある
- (2) 事故により死傷者が出た場合は刑事責任を問われる事がある
- (3) 事故を起こした場合損害賠償責任を問われる事がある
- (4) 同乗者が起こした事故ならば船長が民事責任を問われることは無い

問13 同乗者に対する船長の責任について適切でないものはどれか

- (1) 同乗者に危険を感じさせるような操縦はしない
- (2) 希望があれば同乗者にライフジャケットを装着させる
- (3) 同乗者に危険行為をしないように注意喚起する
- (4) 同乗者に船長の指示にしたがうように注意する

問14 小型船舶船長のマナーについてA・Bの正誤を判断し、以下の内から正しいものを選び

A：操業中の漁船からは出来るだけ離れて航行した

B：手漕ぎボートは引き波の影響を受けにくいので近くを航行する時に速度を落とさなかった

- (1) Aのみ正しい
- (2) Bのみ正しい
- (3) A B共に正しい
- (4) A B共に誤り

問15 航行中に落水してしまった場合の対処として適切でないものはどれか

- (1) パニックにならず落ち着いて行動する
- (2) ペットボトルや発泡スチロール等につかまり浮力を確保する
- (3) 岸が見えている場合は全力で岸に向かって泳ぐ
- (4) 笛を吹くなどして自身の位置を知らせる

問16 小型船舶船長の遵守事項に違反し処分を受ける場合、処分の軽減処置を受けるにはどうすれば良いか以下から選べ

- (1) 再教育講習を受ける
- (2) 一定の社会奉仕活動を行う
- (3) 出家し俗世から離れ神に許しを請う
- (4) 略式裁判を受ける

問17 操縦免許の有効期間を更新する時に必要になる要件は以下の内どれか

- (1) 小型船舶船長として1日以上の乗船履歴がある
- (2) 指定された機関が行う更新講習を受講している
- (3) 指定された機関が行う再教育講習を受講している
- (4) 有効期間が満了してから6ヶ月が経過していない

問18 小型船舶船長の心得として適切でないものはどれか

- (1) 法廷備品は当該航海に必要な物のみを積み込むようにする
- (2) 発効前の点検は短時間の航海であっても必ず行う
- (3) 余分なライフジャケットがあったとしても定員を超える人数を乗船させない
- (4) 航海前に天気予報を確認していても観天望気を行う

問 1 9 小型船舶船長の遵守事項で禁止されている「危険な操縦の禁止」に含まれないものはどれか

- (1) 遊泳者の近くで急旋回する
- (2) 遊泳者を発見したので急停止した
- (3) 遊泳者の近くでジグザグ運転をした
- (4) 遊泳者の近くを高速で航行した

問 2 0 操縦者免許の有効期間は何年か

- (1) 3 年間
- (2) 4 年間
- (3) 5 年間
- (4) 6 年間

問 2 1 安全な航海を行うために取った船長の行動で適切でないものはどれか

- (1) 天候が悪化してきたが荒天準備よりも目的地への到着を優先させた
- (2) 日没が過ぎたので見張りのために航海計器の照明を調整した
- (3) 船が多い海域に来たので速力を落とし見張りをしやすくした
- (4) 会話の最中でもエンジン音に注意をしていた

問 2 2 他の船舶の事故を知った場合の処置として適切でないものはどれか

- (1) 携帯電話で救助要請を受けたので正確な船の位置を確認した
- (2) 信号紅炎を発見したので直ちに救助に向かった
- (3) 救助する時に 2 次災害を防ぐために泳いで救助に向かった
- (4) 危難事故を発見したので「118 番」(海上保安庁)に通報した

問 2 3 初めて船舶を航行させるとき及び船舶検査証書の期間が満了したときに受ける検査は何か

- (1) 中間検査
- (2) 定期検査
- (3) 特別検査
- (4) 臨時検査

問 2 4 技能限定のない 2 級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか

- (1) 16 歳
- (2) 18 歳
- (3) 19 歳
- (4) 20 歳

問 2 5 小型船舶船長の遵守事項として適切でないものはどれか

- (1) 飲酒などにより適切な判断が出来ない者に操縦させてはならない
- (2) 水上オートバイを無資格者に操縦させる場合は有資格者が監督する
- (3) 海上交通安全法に規定された航路を航行する場合は有資格者が操縦する
- (4) 水上オートバイを航行させる場合はライフジャケットを着用しなければならない

問 2 6 小型船舶に乗船する時の服装について適切でないものはどれか

- (1) 雨の予報が無く出港時も晴れていたため雨具を用意しなかった
- (2) 靴底が柔らかい滑りにくい靴を用意した
- (3) 体感温度の低さを考慮して 1 枚余分に上着を用意した
- (4) 動きやすく肌の露出が少ない服装を用意した

問27 免許証の取り扱いとして適切でないものはどれか

- (1) 無くした時や破損した時は再交付申請ができる
- (2) 乗船する時は免許証の写しを携帯している必要がある
- (3) 2級免許証を取得している者が1級を取得する時は2級免許を国に返還する
- (4) 住所変更や記載ミスは訂正申請をしなければならない

問28 小型船舶船長の遵守事項について述べた以下の文章の( )に入る適切な文言はどれか

「操縦する小型船舶が衝突した時やその小型船舶に逼迫した危険がある時は( )に必要な手段を尽くさなければならない」

- (1) 通信の確保 (2) 人命の救助 (3) 船位の確認 (4) 船体の確保

問29 環境への配慮として適切なものはどれか

- (1) 釣りによる撒き餌は周辺生物の多様性をもたらすので積極的に行う
- (2) 釣り針や釣り糸は海鳥などに悪影響を与えるので放置せず持ち帰る
- (3) ビニール袋は航行の支障になるので海中に投棄するようにする
- (4) ロープ等はプロペラに絡まる危険が有るので海中に投棄する

問30 小型船舶の係留や処分について適切なものはどれか

- (1) 大きな河川であれば自由に杭を打ち係留できる
- (2) 無許可で係留する場合は他船の航行の妨げにならないように注意する
- (3) 周囲の景観に影響を与えなければ不要になった船を放置して構わない
- (4) 不要になった船の処分方法が分からなければ自治体やマリーナに問い合わせる

以上 30 問